第９回鳥取県災害対策本部会議
＜鳥取県中部地震＞

【日時】 11月21日（月）10:10～
【場所】 災害対策本部室（県庁第２庁舎）

発生日時： 10月21日 14時07分

震源： 鳥取県中部（N35度22.8分、E133度51.3分）
マグニチュード： **6.6（暫定値）**
震源の深さ： 11km（暫定値）

【各地の震度（鳥取県関係）】
震度６弱 **倉吉市、湯梨浜町、北栄町**
震度５強 **鳥取市、三朝町**
震度５弱 **琴浦町、日吉津村**
※この地震による津波の心配なし

【目標】 **①被災者に安心と健康を**
②避難の早期解消

1　県内の被害状況等 28.11.20 12:00

【人的被害】重軽傷者21名　※死者はなし

重傷4名（境港市１名、倉吉市１名、湯梨浜町１名、北栄町１名）

軽傷17名（倉吉市９名、北栄町４名、琴浦町１名、三朝町１名、鳥取市１名、岩美町１名）

【住家被害】計13,335棟

全壊15棟（鳥取市１棟、倉吉市１棟、北栄町13棟）

半壊108棟（倉吉市54棟、湯梨浜町9棟、北栄町45棟）

一部破損13,212棟（鳥取市78棟、倉吉市9,150棟、岩美町１棟、三朝町643棟、湯梨浜町1,511棟、琴浦町299棟、北栄町1,530棟）

【非住家被害】計50棟（その他）全壊17棟、半壊33棟

1　県内の被害状況等 28.11.20 12:00

【避難所の開設状況】※11.20 18:00現在

１か所（倉吉市１）

※ピーク時は７市町で70か所

【避難勧告の発令状況】

５世帯14名 倉吉市３世帯11名(近隣の排水塔倒壊のおそれ)

三朝町２世帯３名

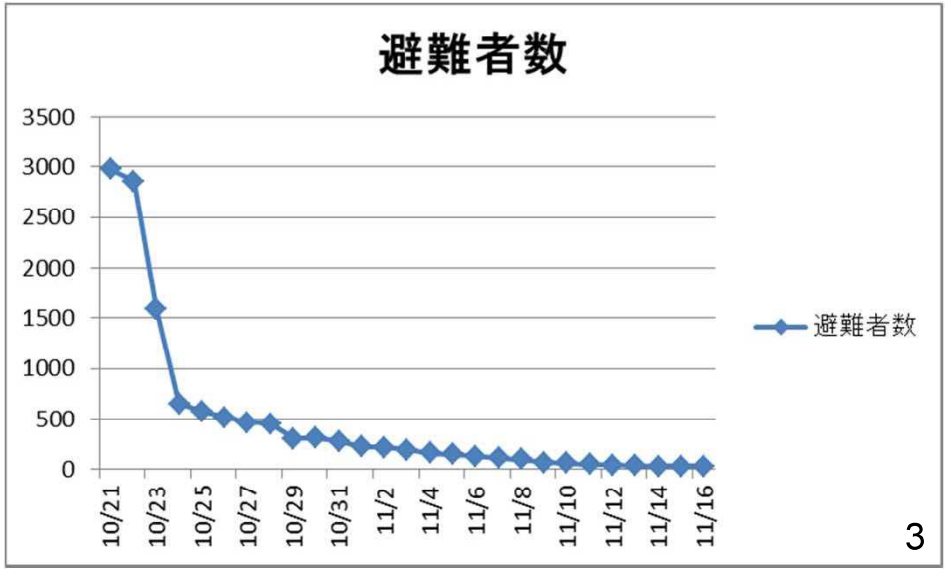
(地滑りで家屋倒壊のおそれ)

【住民避難の状況】※

15名 (倉吉市15名)

※車中避難なし、福祉避難所への避難なし

※ピーク時2,980名の約1%未満



1　県内の被害状況等 28.11.20 19:00

【罹災証明の状況】

市町村名	受付開始日時	罹災証明書の受付数・発行数（累計）						
		振分未済	1次調査			2次調査		
		受付数	受付数	調査済数	発行数	受付数	調査済数	発行数
鳥取市	10月26日8時30分		134	81	0	0	0	0
倉吉市	10月23日		(328)	(328)	0	0	0	0
三朝町	10月24日15時		1,008	996	0	0	0	0
湯梨浜町	10月23日9時		1,522	1,457	718	88	2	0
北栄町	10月24日15時		1,747	1,632	0	0	0	0
琴浦町	10月24日16時		300	281	220	0	0	0
大山町	11月9日		3	0	0	0	0	0
伯耆町	10月22日	7	0	0	0	0	0	0
合計		7	4,714	4,447	938	88	2	0
倉吉市の独自方式を含めた合計		7	13,919	11,758	938	88	2	0

※倉吉市は、住民の届け出により、被災住宅状況調査を実施し、調査実施後に罹災証明願を受付ける方式をとっている。
（20日現在の届出数9，205件（調査済数7，311件）
倉吉市の1次調査の受付数（328件）、調査済数（328件）は、この内数であることから、（　）書きで記載している。

※伯耆町は、受付後、住民の意向を確認しながら調査方法を決定する方法をとっている。

1　県内の被害状況等 28.11.17 12:00

【被災建築物の応急危険度判定】10月29日に終了

計 7,159件（危険292件、要注意1,203件、調査済5,664件）

※倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町で実施。

【被災宅地の応急危険度判定】当初分は10月29日、追加11月4日に終了

計 4,898件（危険228件、要注意389件、調査済4,281件）

※倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町で実施。

1　県内の被害状況等 28.11.20

【ボランティアの活動総数】11月17日現在

計 3,453件（うち県内2,199名）

※倉吉市2,615名(うち県内1,470名)、三朝町83名(うち県内76名)、
湯梨浜町218名（うち県内184名）、琴浦町537名(うち県内469名)

【災害ボランティアセンターの活動状況】

市町	開設場所	ボランティア活動人数・活動内容
倉 吉 市	まちかどステーション	家屋の片づけ、瓦礫撤去など ８５名（県内３３名、県外５２名）
三朝町	三朝町社協	0名
県社協	鳥取県社協	災害救援ボランティアセンター支援本部の運営 活動内容：市町の災害ボランティアセンターの支援 倉吉市：2名、三朝町：0名派遣　※11月18日現在

※湯梨浜町災害ボランティアセンターは11月4日（金）で閉鎖し、北栄町災害ボランティアセンターは11月11日（金）で閉鎖し、
いずれも町社協で平日のみボランティア・困りごとを受付中。

1　県内の被害状況等 28.11.17 9:00現在

【農林水産業関係被害の状況】

合計 1,304,201千円

○農業関係　1,273,036千円

農作物:63,496千円(梨62,716千円、柿(780千円))

農地：180,970千円(180箇所)

農業用施設：489,881千円(423箇所)

農村生活排水処理施設：41,135千円(14箇所)

共同利用施設：497,554千円（22箇所）

○林業関係　30,065千円（林道、特用林産物）

○水産業関係　1,100千円

１　県内の被害状況等 28.11.20現在

【公共土木施設被害の状況】

合計 2,662,250千円（132箇所）

○国交省所管分　2,632,250千円(131箇所)

○農水省所管分　30,000千円(1箇所)

【道路通行規制の状況】

市町村道、農道、林道：２９路線で全面通行止め

※これまでに68路線で通行出止めが発生。

現在、国道、県道の通行止めは全て解消。

【水道施設被害の状況】

復旧費計 300,396千円

※管路破損等に対応中：倉吉市１地域、湯梨浜町３地域、三朝町３地域

1　県内の被害状況等 28.11.20現在

【庁舎・公共施設等の被害】17施設

庁舎：衛生環境研究所、鳥取市鹿野総合支所、米子市立尚徳共同調理場等

文化施設等：倉吉未来中心、ハワイアロハホール

県営発電所等：小鹿第一発電所、小鹿第二発電所

社会体育施設：倉吉体育文化会館、船上山自然の家、北栄町中央公民館等

【公営住宅等の被害状況】52団地

鳥取県(21)、鳥取市(1)、倉吉市(13)、三朝町(5)、湯梨浜町(6)、琴浦町(5)、北栄町(1)

【文化財の被害状況】48件

【がけ崩れの状況】９箇所※全て応急処理済み、住民等に注意喚起

2　県の対応状況など

10月21日（金）

14:07（発災同刻）　**県災害対策本部設置**

15:05　第１回災害対策本部会議（直近10/25 第7回会議）

16:20～　災害時緊急支援チーム派遣（倉吉、湯梨浜、北栄）

19:22　自衛隊の災害派遣（倉吉市へ給水）

10月28日（金）

17:00　自衛隊への撤収要請

【災害救助法の適用】　※10/24三朝町を追加適用

◆県内４市町に災害救助法を適用

（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町）

◆適用日　10月21日（４市町とも）

※適用の１市３町では、現在も災害対策本部の設置を継続中

3　避難所生活の支援

- 被災市町の食事は継続して手配中（倉吉市、北栄町）
  ※10/30からはカップスープ類も提供。
- 離乳食（湯梨浜町）の要請（対応済み）
- 避難所の物資ニーズの把握
  →随時対応。ストーブ、段ボールベッドほか納品済み。
- 避難生活の留意点や相談窓口、罹災証明の説明などを掲載したチラシや鳥取県の緊急支援施策のパンフレットを作成し、各避難所に掲示、配布
- 避難所生活者に対する温泉旅館でのおもてなし（利用券配布済み）
- 保健師、医師等の避難所巡回による、衛生面や健康面のサポート
- 県職員、市町村職員による避難所運営の支援
- 倉吉市と県が連携して避難所を訪問しての住宅支援の紹介等を実施

４　各部局の対応状況など　元気づくり総本部

（元気な鳥取の情報発信）

１　イベントやメディアを活用した元気な鳥取発信

【風評被害払拭大作戦】

- ○ 首都圏・関西圏での観光キャンペーンと連携したPRイベントの実施
- ○ 様々なメディアを活用した全国への情報発信
- ○ 観光宣伝、宿泊サイトへの広告・情報発信・送客要請活動
- ○ 海外からの誘客に向けた情報発信

２　災害被災地応援サイトの充実による情報提供

- ○ 被災者が必要とする情報に合わせ、国内外からの応援メッセージなど被災者を元気づける情報の発信
  （白鵬関、石浦関、蓮佛美沙子、イモトアヤコさんほか掲載）
- ○ 各種支援策を掲載（住宅再建、税の減免等）
- ○ 観光地や交通機関等、観光地鳥取が元気であることの発信
- ○ ふるさと納税、義援金等への協力呼びかけ

元気づくり総本部

（パンフレット等による支援施策の広報）

１　被災者向け、被災事業者向けに各種支援施策を取りまとめたパンフレットを作成し、市町等を通じて配布

新たな支援施策を追加した改訂版を発行予定　（第４版：11/24予定）

【部　数】：２，０００部（第１版：10/25発行、第２版：10/31発行、第３版：11/9発行）

【配布先】：倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、中部総合事務所、
金融機関、商工団体

【第３版からの変更点】

・鳥取県中部地震総合支援相談窓口を追加掲載

・被災した事業所の施設及び設備の原状回復に必要な費用への助成制度（鳥取県版　経営革新総合支援事業）を追加掲載

２　避難生活の留意点や相談窓口、り災証明の説明などを掲載したチラシを作成し、各避難所などに掲示及び配布　（随時更新中）

３　広報媒体を使った広報（支援施策、ふるさと納税、義援金等）

・新聞広告（施策広報）11/6（日）、11/8（火）、11/17（木）日本海新聞、山陰中央新報

・県政だより12月号巻頭特集

元気づくり総本部

（パンフレット等による支援施策の広報）

４　鳥取県と8士業が締結した**「大規模災害発生時における相談業務の支援に関する協定」**に基づく支援

・8士業 ・・・　税理士、司法書士、社会保険労務士、中小企業診断士、土地家屋調査士、不動産鑑定士、弁護士、行政書士

（1）被災者・被災事業者向けに無料相談を実施

ア　相談方法　電話（各団体ごとに連絡先を紹介）

イ　相談費用　無料（協定に基づき、相談者の負担はなし）

（2）　4士業（司法書士、土地家屋調査士、弁護士、行政書士）と国（鳥取行政評価事務所、鳥取地方法務局、鳥取税務署）との「無料合同相談会」を11月24日（木）にエキパル倉吉で開催予定

開催案内チラシを避難所や各相談窓口等へ配布

総務部（人的支援の状況）

◆これまでの派遣状況(10/21～11/18)

【被災市町への応援職員の派遣人数(団体別)】

派遣元	派遣人数		（内訳）			
	1日平均	延べ人数	倉吉市	湯梨浜町	北栄町	三朝町
計	114.1	3,310	1,753	589	560	408
鳥取県	41.3	1,197	712	198	262	25
知事会・関西広域等	50.0	1,451	726	284	181	260
県内市町村	22.8	662	315	107	117	123

※避難所支援、物資輸送、罹災証明業務(被災家屋認定(1次)を含む)等に係る応援要員

☆上記以外に、専門職の県職員を派遣：438名(延べ人数)

- ・応急危険度判定(建物)　39名(10/22～10/29)
- ・応急危険度判定(土地)　251名(10/22～11/4)
- ・保健師 96名(10/22～11/2)
- ・農業土木　52名(10/22～11/15)

総務部（人的支援の状況）

◆今後の見込み(11/19～)

①罹災証明関係

＜第1次調査＞

湯梨浜町、北栄町、三朝町：概ね完了

倉吉市：非木造建物の調査のため、11/21～11/25の間、県税職員を派遣（延べ15名）

※第1次調査 実施中 （調査未了件数： 精査中）

＜第2次調査＞

湯梨浜町、北栄町：11/28からの実施に向けて、県内市町村の応援調整中。
中国・四国知事会に派遣要請済。
（11/28～12/17実施予定、8名/日）

三朝町：町職員で対応(派遣要請不要)

②その他

土木等専門職種の派遣については、当面県内で対応

※状況によっては中国知事会等への要請も検討

総務部（被災地支援のためのふるさと納税）

1　寄附金額（11/18午後4時現在　申込みベース）

671件　　4，262万円

※受付開始　10月22日（土）

2　促進のための取り組み

＜企業への働きかけ＞

- ○　県ゆかりの企業等へ訪問して依頼
- ○　県内外の商工会等への周知の依頼

＜個人への働きかけ＞

- ○　県の応援団（県人会員、高等学校同窓生、ふるさと鳥取ファンクラブ会員、過去のふるさと納税寄附者等）へチラシを送付・依頼
- ○　マスコミ、ホームページを活用してのPR
- ○　各イベント来場者へのチラシの配布
- ○　更なる寄附促進のため、とっとりふるさと大使の起用など、広報課等と連携し、訴求力のある効果的なPR方法を考えていく。

寄附呼びかけチラシ

P1

P4

地域振興部の対応状況

1　公共交通関係

・航空（国内線、国際線）、鉄道、バス、隠岐汽船はいずれも通常運航中

2　文化・体育施設関係　※いずれも安全確認がされるまで閉館

（1）倉吉未来中心

・平成28年度10月補正予算（専決処分）により3億8千万円の復旧予算措置
・入居者は、本店等での営業、仮事務所設置等で対応中
・11月9日（水）の関係者会議において、小ホールやセミナールームなど一部の年明け供用開始、アトリウム、大ホールなど全館復旧工事は平成29年2月末までの完了を目指すことを確認（県、設計者、施工者、施設管理者）
・第2回関係者会議を11月24日（木）に開催予定
・11月16日（水）より仮設間仕切り設置工事に着手

【被害状況】
・アトリウムの吊り天井落下、内壁仕上げ材落下、トラス基礎部分の著しい損傷、大ホール天井一部・舞台機構損傷など

（2）倉吉体育文化会館

・体育館は12月下旬復旧予定
・会議棟は営業中だが、給水管の修繕を実施中

【被害状況】
・体育館：天井板が30数枚落下、外回り高窓ガラスが破損・落下、1・2階部で軒天井仕上げ材等破損落下など
・会議棟：屋上高架水槽破損により漏水など

3　私立中・高、各種学校関係

・児童に対する継続的な心のケアが必要である（兵庫県震災・学校支援チーム（EARTH)からの助言）ため、倉吉北高校、湯梨浜学園へ、地震直後に加え、地震の3ヶ月後にスクールカウンセラーを派遣予定
・平成28年度10月補正予算（専決処分）等により順次復旧に着手予定

【被害状況】
・校舎の壁の亀裂、天井の脱落、校舎屋根・体育館・防火扉・通路の損壊等

地域振興部の対応状況（職員派遣要請への対応状況）

○避難所運営、BCP（通常業務の継続）に必要な人員として県内市町村から延べ461人（人日）を派遣　※11/18現在
○罹災証明に係る現地調査業務については、関西広域連合及び中・四国知事会に応援要請。
○罹災証明に係る現地調査業務以外（罹災証明窓口業務やBCP（通常業務の継続）に必要な人員等）については、引き続き、市長会・町村会に応援要請。

※被災市町からの要請を随時受け付け、速やかに市長会・町村会へ伝達するとともに、調整・決定状況を速やかに被災市町へ伝達。
また、それらの状況について、毎日、関係機関と情報共有。

＜罹災証明に係る現地調査業務以外の要請・対応状況＞

平成28年11月18日時点

団体名	要請状況		対応状況
	要請人数（1日あたり）※	要請内容	
倉吉市	19	○罹災証明窓口業務やBCP（通常業務の継続）に必要な人員については、当面、市職員等で対応するが、今後の状況によっては要請を行う可能性あり。 ○避難所運営業務の応援等について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 ①避難所運営業務：10/26～10/31（14人）、11/1～11/3（8人）、11/4～11/6（6人） ※11/4 延長要請あり　11/7～11/11（2人～4人） ②農林土木技師と建築技師：10/26～11/8（5人） ※11/7 延長要請あり　土木技師～11/11（2人）、建築技師～11/18（2人）	①県市長会で調整済 ②県市長会で調整済
湯梨浜町	14	○BCP（通常業務の継続）に必要な人員について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 ①罹災証明業務に係る全体調整：可能な日～2週間程度（1人） ②予防接種、国保、介護、税等：可能な日～2週間程度（7人） ③都市計画関係業務（各種許認可等）：可能な日～1か月程度（2人） ④水道技術者：可能な日～1か月程度（2人） ⑤図書館業務、補助金、出納業務等：11/1～11/14（2人）	①別ルート（危機管理局）で調整済 ②県町村会で調整済 ③県町村会で調整中 ④済（町で対応） ⑤県町村会で調整済
北栄町	7	○BCP（通常業務の継続）に必要な人員について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 ①教育、水道、国保関係業務：10/26～11/6（3人） ②教育、介護、国保、税務、水道等：11/7～11/30（7人）	①町村会で調整済 ②町村会で調整済（要請内容の変更に伴い11/7～18、2～4人で派遣決定）
三朝町	5	○罹災証明申請受付事務に必要な人員について要請を受けて対応中。 ○また、瓦礫置場搬入受付事務について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 ①罹災証明受付申請受付事務　10/27～11/11 ②瓦礫置場搬入受付事務　10/27～11/11 （①②合わせて5人）	①②町村会で調整済 ※11/7～11は徳島県町村会からの応援
4市町計	45		

※「要請人数（1日あたり）」は、現在要請を受けている中で1日あたりの人数が最大となる日の人数を記載
※上記の他、保健師等の専門職種については、県庁各課が窓口となり派遣要請に対応

観光交流局（宿泊キャンセル数及び今後の取組）

１　県内旅館・ホテルの宿泊キャンセル数

平成28年11月18日17時現在

予約キャンセル数（11/18時点）　２８，９６７泊

地区	施設数	休業中	キャンセル数		計
			10月21日～23日	それ以降	
東部合計	118	―	867	985	1,852
中部合計	97	3	5,005	11,926	16,931
西部合計	179	―	3,153	7,031	10,184
総計	394	3	9,025	19,942	28,967

＜調査対象＞ 旅館業許可施設（「ホテル」又は「旅館」の業種で登録されているもの）全394施設
＜調査方法＞各市町村から調査対象施設に協力を依頼。回答があった施設のキャンセル数を計上

２　今後の取組

【誘客対策】

・団体バスツアーに対する助成（１１月８日から開始）　　県内宿泊ツアー　６万円／台、日帰りツアー3万円／台
・旅行会社に対する誘客対策の強化　　関西・山陽方面向け観光情報説明会の開催等
・ANAグループによる「鳥取応援プロジェクト」
　・県内発着路線において「旅割」運賃の値下げを実施。対象：1月10日～2月28日、対象路線：鳥取＝東京（羽田）（ANA293便、ANA296便の2便が対象）、米子＝東京（羽田）（ANA381便、ANA386便の2便が対象）、
　運賃：「旅割75,55,45」の値下げを実施　例）「旅割75」の最安運賃　鳥取＝東京（羽田）　9700円、米子＝東京（羽田）11700円
　・鳥取県方面の旅行需要を拡大する旅行商品の設定　「旅作（たびさく）」で旅行代金が5000円割引になるクーポン券を発行　等

【情報発信】

・大手宿泊予約サイトを活用した風評被害対策
　楽天トラベル、じゃらん、るるぶトラベルのトップページへのバナー貼り付けやバナー広告などの個人旅行者向けプロモーションの実施。
・宿泊者によるSNS等による情報発信（１１月１８日から実施予定）
「鳥取は大丈夫」「鳥取は楽しかった」とSNSや口コミ等で発信してもらった県内　宿泊者に対し、協力宿 泊施設にて地元ゆかりの品プレゼント1万人分を配布
・その他
　県内周遊対策としてクーポン付施設案内冊子「トリパス」（風評被害対策版）　の作成・配布、チラシ等（とっとりで待っとります）、缶バッジ（とっとりで待っとります）の作成・配布

【復興観光キャラバン等の実施】

JR姫路駅での観光・利用促進PR（11月19日）、JR京都駅での観光PR（11月22日）、鳥取県フェア松葉ガニ祭りIN堺（11月19日）、京都マスコミキャラバン（11月21日）等

福祉保健部の対応状況

1　健康支援対策

（1）在宅支援

「保健師等の支援体制」

・市町保健師は、一度巡回して把握したハイリスク者の継続フォロー
　→余震や生活再建への不安を訴える者、慢性疾患の病状等心身の健康に対して支援
・市町保健師は、避難所を出て自宅以外に居住している者のリスト化を実施中
・医療救護対策支部（県保健師）は、後方支援を継続中（市町の情報集約、必要な助言）
　※県内外の派遣チームの活動は11/5（土） 終了。(55チーム123名）
・11/22（火）　中部福祉保健局主催で市町との検討会を開催
　→市町保健師が家庭訪問により、新たな居住地での生活・健康状況の把握と心のケア並びに孤独化防止を図ることについて検討する。
・発達障害者支援センターが発達障害など個別支援が必要な幼児・学童、保護者に適時対応

※11/7（月）から被災市町では乳幼児健診等の通常業務の保健事業を再開

（2）避難所支援

①健康管理

・倉吉市、北栄町の避難所を市町保健師が毎日2回（昼間、就寝前）巡回中

②協力機関の支援状況

・鳥取県歯科医師会チーム
　→11/17（木）　福祉避難所（北栄）で口腔ケアを実施

（3）市町災害対応職員等を対象にメンタルヘルス相談会開催

日時　：　11月21日（月）　13:30-16:00
会場　：　中部福祉保健局
内容　：　精神保健センター原田所長による面談等
対象　：　市町職員のうち希望者、職員健康管理及び勤務体制担当者のうち希望者

福祉保健部の対応状況

２ 「平成28年鳥取県中部地震災害義援金」を募集中

〇受付期間　　平成28年10月25日（火）から平成28年11月25日（金）まで
⇒ 平成29年　3月31日（金）まで延長

〇実施方法
（1）募金箱の設置　鳥取県共同募金会、NHK鳥取放送局、県庁（県民課）、各総合事務所地域振興局、県立図書館、県立博物館、県外本部等
山陰合同銀行、鳥取銀行の各店舗

（2）口座振込み　日本赤十字社、共同募金会、鳥取県の各指定口座
（3）現金書留による送金　鳥取県共同募金会あての現金書留は手数料無料

【災害ボランティアセンター設置・活動状況】

市町	開設場所	ボランティア活動人数・活動内容（11／18（金））
倉 吉 市	まちかどステーション	50名／活動内容：家屋の片付け、瓦礫撤去
三朝町	三朝町社協	0名
県社協	鳥取県社協	災害救援ボランティアセンター支援本部の運営 活動内容：市町の災害ボランティアセンターの支援 倉吉市：2名、三朝町：0名派遣

生活環境部　1

第7回幹事会以降の変更箇所に下線。

上・下水道	＜上水＞ ・ 倉吉市：復旧作業により、管路等の破損箇所は全面復旧し断水解消。 配水塔（生竹地区）倒壊の危険があり、3世帯(11人)避難中。 ※配水塔は、解体中。（12月上旬完了予定） ＜下水＞ ・ 下水道被災箇所が徐々に判明し、カメラによる管渠調査等を実施中。 実施中：天神川流域・倉吉市・北栄町　　完了：湯梨浜町 災害査定(12月12～16日）に向け準備中。　※職員応援検討中（湯梨浜町） ・ 県浄化槽協会との協定により、浄化槽の無料点検受付終了。
災害廃棄物の仮集積場	倉吉市：1カ所。22日14時から受け入れ開始。　11/20閉鎖(11/26含む４日間特別搬入日を設定) 三朝町：1カ所。23日8時30分から受け入れ開始。11/13閉鎖 湯梨浜：2カ所。22日13時から受け入れ開始。　泊は11/3に閉鎖、羽合、東郷は11/20閉鎖 北栄町：2カ所。22日15時から受け入れ開始。　大栄は11/13に閉鎖、北条は11/20閉鎖 琴浦町：1カ所。24日10時から受け入れ開始。　10/30閉鎖 ※墓石の処理については、個人処理とするよう調整。 ※県、市町村、事業者で協議(10/27)に基づき、量の多い倉吉市、北栄町でも搬出作業を開始 ※ほうきリサイクルセンター焼却炉2号炉について、焼却炉内部の耐火レンガ等が落下し運転が不可能⇒修繕に12月一杯かかるみこみ。現状は1号炉が問題無く運転中であり、処理はできている。
避難所宿泊者の温泉旅館でのおもてなし	避難生活で疲労の蓄積している避難所宿泊者を県旅館ホテル生活衛生同業組合の協力により温泉旅館・ホテル（はわい温泉・東郷温泉・三朝温泉・関金温泉）でおもてなしすることとした。 11月2日に各避難所へ利用券を配布し、11月4日から利用開始。
悪質商法への注意喚起など	・ 県の被災地応援サイトに情報掲載。被災者向けチラシを作成し、配布。 ・ 被災した中部消費生活センターは、10月28日から倉吉交流プラザ相談業務を再開。

生活環境部　2

り災証明	・ 現在、倉吉市を残し1次調査はほぼ終了。湯梨浜町、琴浦町では罹災証明の交付が始まった。 ・ これに伴い2次調査の要望も出始めており、2次調査のための人的体制を整える必要があり、湯梨浜町、北栄町からの要望については、中四国知事会に要請し、調整中。 ・ 11月18日に2次調査に係る市町村担当者説明会を開催。
被災者住宅支援	25日の知事専決補正予算により鳥取県被災者住宅総合支援事業を実施。 【被災者住宅再建支援補助金】 助成額：30万～300万円 対象：全壊、半壊、一部損壊(損害基準判定10%以上の世帯) 【被災者住宅修繕支援金 助成額：5万円(但し、4%以下の軽微な損壊は、段階的に1万円まで支援額を引き下げ) 対象：一部損壊(被災者住宅再建支援補助金の要件を満たさないもの)
住宅の提供	・ 倉吉市建築住宅課と連携して避難所を訪問し、避難者の住宅状況の確認、県の住宅支援の概要紹介等を実施。（11月11日・17日） ・「居住していた持ち家が全壊・大規模半壊・半壊であって解体することを余儀なくされた」「居住していた民間賃貸住宅の貸主が修繕を断念する等賃貸借契約が解除された」等の場合に、入居可能な県営住宅等73戸（うち、倉吉市内53）を確保。 ・ 1次募集は、10月26日～11月4日まで申し込みを受け付け、11月9日までに倉吉市内の37戸について入居決定。 ・ 2次募集35戸（県営住宅27（1次分の再募集22含む）、国職員宿舎8。(内 倉吉市内15)）について、11月14～18日に12件の申し込みを受け付け。 ・ 倉吉市が被災者が民間賃貸住宅に入居した場合の家賃補助を実施予定(約30戸。県も1/2を支援) ・ 県営住宅・市営住宅・民間賃貸住宅などを合わせて、中部地区で約120戸、県全体では約170戸を確保の見通し。
建物修繕相談窓口	・ 中部総合事務所2号館(2階)に『被災建物修繕等総合相談窓口』開設。9～17時まで。 ・ 業界団体を通じた住宅修繕相談のフローについて広報。窓口で、修繕に係るアドバイス、事業者団体を通じた修繕事業者の紹介等を実施。

県内企業等の被害・支援状況（商工労働部）

県内企業の被害の概況

○ **県内の主要製造業**　（約50社）

- ■ 施設・設備被害は残っているが、**調査対象の事業所はすべて操業再開。**
- ■ 各社の復旧方針を伺いながら、支援策について個別協議を重ねていく。

○ **県内の中小・小規模事業者**　（約1,100社を調査）

- ■ **軽微なものも含め、中部地区の「施設・設備被害あり」の企業は約300社超（1/3）。**
- ■ **うち半数以上が、早期復旧支援、復旧後の経営安定化に向けたサポートを希望。**

支援の取組状況

・ **支援機関が一体となった「震災対策企業支援ネットワーク」による支援**

（メンバー）　商工団体・金融機関・保証協会・産業支援機関・国（経産局・労働局）・社労士会・県

・ 5年間無利息・無保証料「がんばる企業を応援！特別金融支援事業」を創設

・ 鳥取県版経営革新総合支援事業（復旧・復興型）　11/14から受付開始

・ 商圏拡大・需要獲得支援事業　の増枠

農林水産部の対応

１．農林水産被害の概況

- 農林水産関係被害総額は13億420万円

大区分	中区分	小区分	被害規模	被害額	主な被害状況（市町村）
農業	農作物	梨（王秋・あたご等）	8.88ha	62,716千円	地震の揺れによる落果 （倉吉市、 湯梨浜町等）
		干し柿	―	780千円	地震の揺れによる干し柿の落下（北栄町）
	農地・農業用施設	農地（水田・畑）、ため池、農道、水路、頭首工、集落排水処理施設	617箇所	711,986千円	水田・畑法面崩壊、芝畑の液状化、ため池天端・法面の亀裂・路肩崩壊、農道の亀裂・法面崩壊、水路ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝの漏水、集落排水処理施設の地盤沈下・施設の破損等（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町等）
	共同利用施設	選果場、集荷場（梨、西瓜、きゅうり、メロン、長いも、らっきょう）	10箇所	281,464千円	建物破損[壁・ｶﾞﾗｽ割れ、基礎]、選果機破損（倉吉市、湯梨浜町、北栄町）
		加工施設・倉庫等（ﾗｲｽｾﾝﾀｰ、ｶﾝﾄﾘｰｴﾚﾍﾞｰﾀｰ、農産物加工所）	11箇所	188,090千円	建物、施設、機械の破損（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町）
		粉乳工場（大山乳業農業協同組合）	1箇所	28,000千円	粉乳工場の外壁一部崩落（琴浦町）
	個人施設	畜舎、ガラスハウス、倉庫等	―	―	現在、市町で被害規模、被害額を精査中
林業	林道	林道	11路線	29,150千円	切土法面の崩壊、路面の段差（鳥取市、倉吉市、三朝町、湯梨浜町）
	林産	特用林産物（椎茸）	3箇所	915千円	地震の揺れによるほだ木の転倒、ﾋﾞﾆｰﾙﾊｳｽの破損（倉吉市、三朝町）
水産業	施設	漁協荷さばき所	2箇所	1,100千円	上水供給配管の破裂（岩美町）外壁一部崩落（琴浦町）
総合計				1,304,201千円	

２．食糧の調達

- スーパーマーケット、コンビニ等からの手配により十分な食糧を調達

日付	要請元（食数）	手配状況
11月21-22日	倉吉市（21-22日：15食予定）、北栄町（21-22日：6食）	コンビニ、仕出し店から、水・弁当等を調達

３．農林水産関連施設関係

- 鳥取二十世紀梨記念館 ： 11月9日（水）の倉吉未来中心の復旧工事に向けた関係者協議において、12月中旬の供用開始を目指すことを確認（県、設計者、施工者、施設管理者）。

農林水産部の対応

４． 復興に係る食のイベント・ＰＲ

- 鳥取県中部地震復興プロジェクトとして、下記イベント等により、県中部の農林水産物の試食販売や、鳥取県の食の魅力のPRを図るとともに、県外からの誘客に向けた取組を実施。
- 「美味しいものとっとります!!とっとりで待っとります!!食のみやこ鳥取県」のPOPを作成し、県外のイベント等で配布。

- おもなイベントの状況

日付	イベント名	場所	内容
11月12日（土） 13日（日）	鳥取は元気です！買って食べて応援！中部の農産物	マリンピア賀露	「鳥取カニフェスタ2016」（11/12）「とっとり肉肉カーニバル2016」（11/12-13）の開催に併せ、王秋梨などの県中部の農林水産物を試食販売。
11月15日（火） ～18日（金）	「合格まちがい梨」の販売	京橋千疋屋、日本橋三越（東京都）	鳥取県中部地震で落ちなかった梨（王秋）を、三徳山投入堂のお守り、開運八社巡りの手ぬぐいなどとともに、3,939円（さくらさく）で販売。 とっとり・おかやま新橋館（東京都）で現在販売中。 「合格まちがい梨」の第２弾の販売を検討中。
11月15日（火） ～29日（火）	鳥取県産食材レストランフェア	銀座・新橋周辺のレストラン10店舗（東京都）	鳥取和牛を使用して、日本料理、イタリアン、フレンチの10店舗でレストランフェアを開催。今後、関西の3店舗、名古屋の3店舗でのレストランフェアの開催も検討中。各店舗にて、とっとりで待っとります」チラシを配布。
11月22日（火）	「砂丘～とっとりの絆」発売開始	北条ワイン醸造所	鳥取県中部地震に耐え、割れなかったワイン「砂丘」の紅白セットに白兎神社のお守り付。値段は税込み8,810円（ハッピーハート）。
11月25日（金） ～26日（土）	秋田・鳥取海の幸フェア ハタハタフェスティバル	築地魚河岸（東京都）	「美味しいものとっとります!!食のみやこ鳥取県ブース」を設置し、県中部の産品を販売。
11月21日（月） ～28日（月）	コカ・コーラ社員食堂で鳥取県特産品を使ったメニューの提供	コカ・コーラ本社（東京都）	11月28日に発売予定の「い・ろ・は・す　なし」の発売（11/28）に併せて、左記鳥取県中部地震復興イベントを実施。
11月28日（月）	鳥取県特産品の社員向け鳥取県フェア		

県土整備部の対応

1．県土整備部所管にかかる被害、点検状況　　11/18 13時時点（　は11/14 13時時点からの追加部分）

公共土木施設被害状況

〇道路【通行止】県管理　全面0路線、片交1路線

片交：鳥取鹿野倉吉線（三朝町大瀬～倉吉市大原）→事業着手による片交解除に向け地元調整中

【被害箇所】【県管理】道路57箇所【市町村等管理】道路43箇所

〇河川【被害箇所】【県管理】10箇所　【市町村等管理】1箇所

〇海岸保全施設　【被害箇所】1箇所

〇ダム【被害箇所】0箇所

〇港湾【被害箇所】1箇所

〇治山【被害箇所】1箇所

〇下水道【被害箇所】【県管理】1箇所　【市町村等管理】7箇所

〇公園【被害箇所】【県管理】0箇所　【市町村等管理】10箇所

〇その他施設（砂防設備ほか）【被害箇所】0箇所

□公共土木施設被害額（国交省＋農水省林野庁所管分）　132箇所　2，662，250千円

被害箇所は災害査定等に向けて作業中
・査定日12/12の週に決定
・机上査定額1,500万円未満に引上げ（通常300万円）
※災害査定の迅速かつ円滑な実施に国交省が配慮
・各市町の査定準備状況聞取実施中

2．土砂災害危険箇所点検

〇10/22～28日までに全予定箇所1,146箇所点検済。

〇A（緊急対応必要箇所）：10箇所、B（経過観察）：59箇所、C（対応不要）：1,077箇所

A判定・・・県・市町等による今年度災害予算等を用いた早期対策着手を目標

3．被災宅地危険度判定派遣

〇10/21～29日までに予定エリアの判定完了。追加判定要請を受けた箇所も11/4までに判定終了。

全判定件数4,898件（青（調査済）4,281件、黄（要注意）389件、赤（危険）228件）

赤・黄判定・・・各市町住宅相談窓口において、相談者に対し、判定内容の説明と業者相談・団体紹介等を行う。

各市町に対し県は技術的相談に応じる。

4．その他

〇現時点でも開催できる行事は開催し、他県からの来場者に「元気な鳥取県」をPR

11/ 8 中国治水大会（於：鳥取市　国交省、中国各県・市町村等　参加者約200名）

11/11 基幹統計調査「港湾調査」に関する会議（於：米子市 国交省、近畿・中国・四国各県・市町村　参加者約80名）

11/17～18 リサイクルポート4港合同勉強会（於：境港市 秋田、山形、新潟県港湾関係者　参加者約40名）

11/24 中国地方河川管理担当者会議（於：鳥取市　国交省、中国各県）　等

教育委員会（学校等の状況）

※11/18 15:00時点　下線部が主な変更箇所

1　授業の実施【県立学校（全32校）及び公立小中特別支援学校（全187校）】

通常どおり実施　※地震の影響により欠席している児童生徒はなし。

2　スクールカウンセラーの活動

スクールカウンセラーを中部地区の全校に派遣。心のケアが必要な児童生徒に対してカウンセリングを実施中。（カウンセリングは長期的な対応が必要であることから今後も継続的に対応）

3　学校施設・給食センター等への対応状況

施設の復旧等について、県教育委員会も各市町教育委員会の支援を実施

＜倉吉市の学校給食＞

11/1 ～　弁当持参

11/14 ～　中部４町の給食センターの協力により、汁物を提供中（中部４町の給食センターから各校に曜日を決めて週１回汁物を提供できるよう支援）

※その他、民間や他県による昼食支援等を組合わせて対応

<u>※11／18に関係者による支援検討会議を開催し、今後の支援等について調整</u>

4　教職員への心のケア

教職員の心身の疲労等に対して、ストレスチェック制度やメンタルヘルス事業（公立学校共済組合）等の活用を呼びかけるほか、県教育委員会に配置している「心の健康相談員」を派遣し、教職員の心のケアに対応していく。

鳥取県中部地震復興本部会議

平成28年11月21日

中部地震復興本部の設置

県庁の各部局が一丸となり、迅速かつ強力に被災地の復旧・復興を推進するため、「鳥取県中部地震復興本部」及び「中部地震復興本部事務局長」を新設。11/21付

- 迅速な復旧と、震災前にも増して地域が元気になり、住み続けたいと思える地域づくりに向けた復興対策を実施する。
- 事務局長は、地域が元気となる復興施策の立案・調整・実施並びに復興本部の総合調整・運営を行う。

復興本部

本部長：知　　事、　副本部長：副 知 事、　統 轄 監
本部員：各部局長

中部地震復興本部事務局長

事務局（とっとり元気戦略課ほか関係課職員）

災害対策本部　　※避難所の解消まで復興本部と併存して運営

復興に向けて（論点）

- 元気な地域づくりについて
- 鳥取の元気な情報発信について
- 住宅支援について
- 被災住民の生活支援について
- 経済産業振興について
- 農林水産業の振興について
- 公共インフラの復旧について

今後の進め方

- 各部局横断的な実務レベルでの意見交換を実施し、復興に向けた施策などを検討していく。

- 関係市町と担当部局との間で、しっかりとした連携を図る。